

試験日 : 2026 年 2 月 21 日 (土)
入試種別 : 大学院入学試験(4 月入学)修士課程 春期試験
学部・研究科 : 農学研究科 食農科学専攻
科目名 : 専門科目

解答又は解答例

大問 1

英語科目における個々の英単語訳出は、辞書持ち込み可であるため、大学院入試レベル相当の訳出ができることを評価の基準とする。

以下の点に着目して評価を行う。

問 1

【that 節（省略されているものも含めて）が多い文章全体の把握】

ポイント：シンプルな that 節が繰り返されることで一見複雑に見える文構造だが、全体の構造を把握できれば内容自体は非常にシンプルであることに気づけるか、そしてそれらの that 節を含めて全体のニュアンスを正しく訳出できること。

【so~that~構文の訳出】

ポイント：繰り返される that 節の中で、シンプルな構文も混ざっていることに気づき、因果関係を訳出できること。「～が加工されすぎてもはや最終産物では原型を認識できない」状況を訳出できること。

問 2

① 【文全体の中での as indicated by の意味を理解しての訳出】

ポイント：前半部は非常にシンプルな文章だが、その根拠が by 以下に示されていることを理解し、訳出できること。

【estimated yield reductions of approximately 6-8% ~ resulting from~の正しい訳出】

ポイント：英語特有の表現だが、「1°C の温度上昇で～6-8%の収量の減少が見込まれている」という因果関係を示す resulting from を正しく訳出できること。

② 【the poor resilience の意味するところの正確な把握】

ポイント：「the」とされているところで、ここまでどこか近辺にある内容の言い換えだと理解し、近年、環境問題等でよく使われるようになった「resilience」という言葉を正しい文調で把握できること。そうすることで、その前のごく近いところに「the poor resilience」が述べられていると理解し、二つの課題を探することができること。

【Currently, ~. Worse still, ~, enduring potential security risks for と続く文章の俯瞰的な理解】

「今」の問題が述べられていて、「さらに酷いことに～」と来た 2 文の内容そのものが課題だという全体の論調を正しく捉えることで、「Currently」と「Worse still」の後にそれぞれの問題が記述されていることに気づき、それらの内容を正しく記述こと。

大問 2 問題群 1

問 1

以下の点に着目して評価を行う

- ・不妊虫放飼法の定義および技術内容について正しく説明できているか。
- ・不妊虫放飼法が成立する条件を 2 つ以上あげ、正しく説明できているか。

問 2

- ①異なる生物種が、互いの生存や繁殖に影響を及ぼし合いながら進化する現象。昆虫と花の送粉共生関係や、捕食者・被食者の関係がその典型例である。
- ②主に茎の先端で合成され細胞伸長を促す植物ホルモン。一定方向に移動する極性移動を示し、屈光性や頂芽優勢を制御する。農業では発根促進や落果防止のほか、選択性除草剤などで活用されている。
- ③植物の正常な生育に不可欠な必須元素のうち、要求量が極めて少ない成分の総称。鉄、マンガン、ホウ素、亜鉛、銅、モリブデン、塩素、ニッケルの 8 種類。不足すると特有の欠乏症を引き起こす。
- ④マメ科植物の根に感染して根粒を形成し、共生関係を築く土壌細菌の総称。大気中の不活性な窒素ガスを、植物が直接利用できるアンモニアに変換する窒素固定を行う。植物から炭水化物を得る代わりに、窒素栄養を供給する。
- ⑤2021 年に農林水産省が策定した中長期的な政策方針。2050 年までに農林水産業の CO₂ゼロエミッション化、化学農薬使用量の 50%低減、化学肥料の 30%低減、有機農業の面積を全耕地面積の 25%（100 万 ha）に拡大する等の高い目標を掲げる。

大問 2 問題群 2

問 1

以下の点に着目して評価を行う。

- ・多面的機能の内容を正確に説明できているか。
- ・外部性と公共財の概念を正しく説明できているか。
- ・多面的機能と外部性・公共財の関係が論理的に説明されているか。
- ・市場の失敗がなぜ生じるのかを論理的に説明できているか。

問 2

- ① その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度。
- ② 途上国の生産者に公正な価格と労働条件を保障し、安定した生活と持続可能な生産を支えるために行われる、公平な取引の仕組み。
- ③ 生産規模の拡大に伴い、単位あたりの生産コストが減少し、効率性が向上していく現象のこと。
- ④ 地域の食材や伝統的な食文化を守り、環境や生産者に配慮した持続可能な食を重視する運動で、ファストフード的消費への対抗理念として広がった。
- ⑤ 関税や数量制限などの貿易障壁をできるだけ取り除き、国が比較優位に基づいて財やサービスを交換することで、経済効率の向上を図る考え方。

大問 2 問題群 3

問 1

以下の点に着目して評価を行う。

- ・動物の筋肉たんぱく質を 3 種挙げられているか。
- ・3 種のたんぱく質の特性が詳細に示されているか。

問 2

- ① 社会保障制度の 1 つである。保険加入者（被保険者）の保険料を財源に、市町村（保険者）が運営する高齢者介護を、社会全体で支える仕組みである。
- ② おおむね 1 日の身体活動のリズムのことを指す。昼夜の光刺激などによって調整されている。
- ③ 継続摂取による血中 LDL コレステロール値の上昇などの問題が指摘されている脂肪酸である。日本では規制措置はないが、食品業者が食品に含まれる量を減らす対策が取られていたりする。

- ④ 対象者から選んだ参加者を 10～15 名のグループにして、司会者が所定のテーマを与えてディスカッションを進めて情報を収集する方法。
- ⑤ 食事調査法の 1 つである。対象者が喫食した食品を同量用意して、化学分析を行い、摂取栄養素量を把握する方法。